

きせつ
季節のいきもの

冬は野鳥観察を楽しもう

あけましておめでとうございます。毎日寒いですね。草木も昆虫も休眠状態のこんな季節は野鳥を見に来ませんか？彩湖周辺は野鳥の宝庫！特に今が越冬に来た冬鳥(※)たちで一番賑やかです。今回は冬鳥の中でも彩湖にやってくる水鳥(水辺の鳥含む)を紹介しします。水鳥は陸の鳥よりも大きくて水上にいることが多いので見つけやすく、初心者でも手軽に楽しめます。センターでは双眼鏡の貸し出しも行っています。虫網を双眼鏡に持ち替えて彩湖に行ってみましょう。

(※冬鳥…秋に北の国から渡ってきて越冬し、春に帰っていく鳥)

彩湖お勧めの水鳥1番目はオオバンです。彩湖では主に冬に観察できます。集団で陸地に上がり草や草の種をついばんでいるので、観察しやすい水鳥です(近づくと一目散に湖に逃げていきます)。カモっぽいですがクイナの仲間です。



オオバン
 黒い体に白いおでこが特徴

2番目のお勧めはカムリカイツブリ。カモではなくカイツブリの仲間です。すぐ潜ってしまいますが、大きいので観察しやすい水鳥です。



カムリカイツブリ
 何秒潜るか数えてみよう

彩湖に浮いているブイやいかだも双眼鏡で見てください。時々休んでいるユリカモメやセグロカモメが観察できます。嘴と脚が赤いのがユリカモメ、嘴が黄色くユリカモメより大きいのがセグロカモメです。

たくさんのカモを見るなら流入堤まで行ってみましょう。近年多いのがキンクロハジロとホシハジロ。頭が赤茶色で赤い目をしているのが「ホシハジロの雄」、頭が黒くて黄色い目が「キンクロハジロの雄」です。



ホシハジロ
 500羽以上いる日もある



マガモ 尾羽のカールがチャームポイント

この時期、雄のカモはお嫁さんを見つけるためにきれいな色をしています。オナガガモやヒドリガモ、オカヨシガモなど他にもきれいなカモが見られるので、自分のお気に入りのカモを見つけるのも楽しいカモ？です。



セグロカモメ
 背中はそれほど黒くない

流入堤は遠い！ときは「観賞池」に行きましょう。ここにはコガモやマガモなど、浅く草地がある環境を好むカモたちが集まります。池の端の木のあたりを探してみましょう。緑色の頭に黄色いくちばしがマガモ、頭が茶色で目の周りが緑色の小さいカモがコガモの雄です。メスは地味なので、オスの近くにいる茶色いのが雌(めす)かな

～から始めてみましょう。

最後に、昨年戸田市の鳥に制定された「カワセミ」もこの観賞池でよく観察
できます(カワセミは冬鳥ではありません)。池の周りの水面に垂れ下がって
いる枝を探してみましょう。水面に飛び込み、魚をとらえるシーンを見られ
るかもしれません。

目でも耳でも楽しめてたくさん歩ける(?)野鳥観察は心と体をリフレッ
シュしてくれます。ぜひこの冬から始めてみませんか?(A.T)



カワセミ
青とオレンジがきれい

こうざあんない 講座案内(2月)

マスクを
つけてこ
うざにき
てね。



カマリン

2月12日(日)「彩湖周辺の野鳥観察⑤」 ※雨天実施

今年度最後の野鳥観察会です。北へ戻る準備を始めた冬鳥たちを観察する最後のチャンスです。水辺で
水鳥のオスの求愛行動を観察できるかもしれません。どなたでもお申込みいただける観察会です。ご
参加をお待ちしております。(バスを利用する予定です)

◇対象：誰でも(小学2年生以下は保護者同伴)定員20名

◇時間：10:00~12:00

◇参加費：100円(教材費・保険代)

◇持ち物：マスク、双眼鏡(貸出可)

※申込受付：1月12日(木)から(電話のみ)

※彩湖周辺は風が強く、非常に寒いです。
防寒対策を万全にしてご参加ください。



2月19日(日)「竹を使ったものづくり」 ※雨天実施

道満でとれた竹で竹細工に挑戦しましょう!道具の使い方を練習しながら、思い思いの作品を作ります。
コップ、貯金箱、おもちゃなど、1本の竹からいろいろな作品が作れます。

◇対象：誰でも(小学生以下は保護者同伴)定員20名

◇時間：10:00~12:00

◇参加費：100円(教材費・保険代)

◇持ち物：マスク、軍手、作品を持ち帰る袋

※申込受付：1月19日(木)から(電話のみ)



★申込方法：電話にてお申込みください。各講座は定員になり次第、受付を終了させていただきます。なお、お申込みは講座の1か月前の10時から受け付けています。

※問い合わせ・受付時間：TEL:048-422-9991 10:00~16:30

※詳しくは彩湖自然学習センターホームページをご覧ください。

(<http://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/>)

